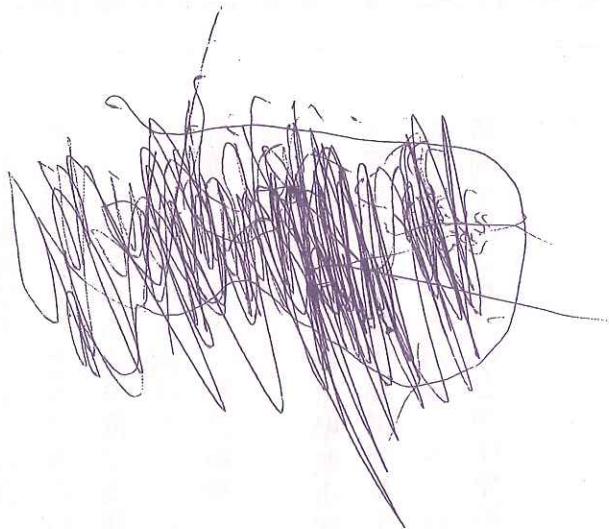


働こう障害者も 働けるんだオレたちも こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会
発行責任者：藤田勝春
編集責任者：田澤幸子
発行：社会福祉法人 こぶしの会
(〒321-0902)
宇都宮市柳田町1401番地



もくじ

- ①特集 支援費制度実施に向けて…… 2・3ページ
- ②仲間…… 4・5ページ
- ③保護者…… 6ページ
- ④トピックス…… 7・8・9ページ
- ⑤掲示板…… 10ページ

こぶし作業所 新田 忠弘

社会福祉法人
こぶしの会

- 法人事務局 こぶし作業所・生活支援センター ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp.
- けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
●デイサービスセンター TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
E-mail t.keyaki@ba.wakwak.com.
- セルフ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
E-mail selp-mirai@ar.wakwak.com.
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
●県東ライフサポートセンター TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
TEL 028 (687) 0311
E-mail dai2keyaki@ba.wakwak.com.
- グループホーム ☎321-0954 栃木県宇都宮市元今泉6-14-20
こぶしのときわ荘 TEL 028 (662) 5533
- グループホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
すずらんの家 TEL 028 (677) 4430

特集

支援費制度実施に向けて 社会福祉法人こぶしの会 支援費制度学習会開催

去る、八月三十一日(土)芳賀町農業者トレーニングセンターにて社会福祉法人こぶしの会、こぶし作業所保護者会、けやき作業所保護者会、セルフみらい保護者会、全国保育福祉労働組合こぶし分会の五者共催で支援費制度学習会を開催しました。この五者共催の企画はこぶしの会では初めてであります。当日は保護者、利用者、職員総勢七〇名を超す参加者が集まり賑やかな会となりました。

また、今回は栃木県東健康福祉センター企画課長松山様、宇都宮市高齢障害福祉課長小林様のご講演をいただき今までにない学習会となりました。特に保護者の方々の積極的な意見、質問が出されたことが印象的でした。

内容は、

①利用者負担額の問題。制度が変わると負担額が増えてしまうのではないか。

②自己決定、自己選択を尊重する制度といわれるがどこから情報を得るのか。また施設側も情報開示をきちんとしてほしい。選択する基準の中に職員の質もきちんと打ち出してほしい。

③各市町村が訪問調査を行うとされているが、ただ一日だけの調査などでは我が子の様子を把握してもらえないことはむずかしいのではないかと。

④契約への不安。支給期間、申請の

手続きなど内容や方法の不安がある。

⑤作業所が休みの時に緊急で預かってもらう場合など、サービスの種類ごとに申請するのか。

⑥利用者の自己選択と言うが、事業所に入所を拒否されることもあるのか。

⑦県内どの施設でも選べるのか。
⑧サービス内容を本人が納得いかない場合はどうするのか。

⑨受給者証について、点字などで障害に対応できるようにしてくれるのか。

質疑内容はこのように具体的なものが多く出され保護者、職員も「支




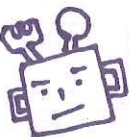
僕たちのこと
もっと知ってほしい!

ボランティア大募集

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所
028-687-1040

**こぶし作業所
ボランティア大募集!**

1. 日曜作業所
2. 二荒山バザー

お気軽に
どうぞ

お問い合わせ こぶし作業所
☎028 (662) 1911

「支援費制度」の中身と手続きの概要が少しずつ見えてきたように思われ、支援費学習会の最後に行われた、保護者、職員に分かれての分散会では「支援費制度が導入されることではこのごぶしの会に求められていることは何なのか？」というテーマで思う存分議論していただくという企画しました。時間が思うようにとれず短時間ではありましたが内容は濃いものとなりました。

保護者分散会では、まず理事長よりあいさつがありました。利用者、保護者に信頼され選ばれる施設にならなければと考えている。そのためには長期計画策定委員会の計画をこの秋までにはまとめたい。中身は「ごぶし作業所をどうするか」「生活の場をどうするか」「法人の運営をどうするか」「人材の育成をどうするか」などを柱に新しいごぶしの会の展望を切り開くためにも余力をあげて取り組んでいる旨を説明されました。これに対し保護者からは「ノーマライゼーションのはなしがあつたが現実的には選択できると言っても情報が少なくなぜこんなに性急にやらなくてはいけないのか。」「最後まで子供達の面倒をみられるごぶ

しの会になってほしい。」「策定委員会で広範な議論をしていただけを考えたい。」「等時間を延長し熱心な質問が相次ぎました。

一方職員分散会では支援費制度の本質に近い議論がされたように思います。「二〇〇三年四月からの支援費スタートで実際に支援費が事業所に支払われるのは六月末日になる。運営費の準備は大丈夫か心配。」「公正で適切な第三者評価を得ることができるか。」「

「オプションサービスの部分で利用したいが実費全額の徴収となり支払いに難しい方などが出てくるのではないか。」「訪問調査（県内の施設利用者は施設に市町村が訪問）時にきちんとした勘案事項を職員がまとめて記入する必要。また、契約の際に個別支援計画書を提示するが今までと違い職員の専門性や力量が問われてくる。」「

「ごぶしの会の理念をこの制度改革の中でどう対応していくことが求められるのか。果たして後援会活動で職員も保護者も大変な思いをしなからすすめてきたがこれからは本当に選んでもらえるのか。」「

このような意見に表れているよう

に支援費制度の中で市場原理や競争原理が持ち込まれる不安が多かったです。この新しい制度には周知徹底されていないということだけでなく、大きな問題点が多く含まれています。制度の唱い文句である「自己選択」「事業者との対等平等性」が本当に保障できるのか、利用者の求めるサービスを選択し、より良いサービスを求めれば求めるほど個人や家族への財政負担も増え経済的に豊かな人だけが幸せになれる制度になりはしないか。社会保障、社会福祉の本来の意味は何なのかを問われている気もします。「ごぶしの会」が育んできた存在価値を改めて見直し、目先のサービス合戦に惑わされない施設づくり、仕事づくりをし利用者が本当の意味で主人公になれる自立支援をつくっていききたいものです。


新しい制度のもと、「新しい」ごぶしづくりを多くの皆様と一緒に汗を流しやり遂げたいと思っています。今後も支援費制度に対する大きな議論を重ねながらまた、保護者の方々、地域の方々、職員とともに、共同の再構築が求められているのではないのでしょうか。

ボランティア大募集

セルフみらい

箱折り、リサイクル作業
弁当配達のお手伝い
作業ボランティア...etc

☆仲間と一緒に
楽しい時間を過ごしましょう☆




休日を利用して

体験ボランティアしてみませんか？

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなととてもよいところですよ！

☆第2けやき作業所

☆県東ライフサポートセンター



熱き戦い…ボーナス交渉

こぶし、けやき、第二けやきでは、ボーナス獲得をめざして、この夏も所長との直接交渉を行いました。

(こぶし作業所)

ボーナス交渉についての自治会役員会の話し合いは、六月四日に始まりました。最初の要求額は五ヶ月分です。

さらに班ごとに話し合いを行いました。しかし、その後の役員会は、会議があるのを忘れてしまったり休んでしまったりということが重なりなかなか進みません。また、ボーナス要求のほかにも話し合わなければならぬことがたくさんあります。今年度にはいつて、月二回定期的に自治会役員会を開いています。ひとつの議題を話し合うのに長時間を要し、まるまる一日時間をかけて話し合わない、とても間に合わないと思う毎日です。どうやって会議を進めたらいいか、職員として悩んでいます。

一回目のボーナス交渉は、八月六日に行われました。やはり要求額は、

五ヶ月ということとその他の改善要求もたくさん出されました。田澤所長からは、昨年度から基本的には、定期昇給を実施してきていること、今年度の四月から七月までの授産収入額が昨年度に比べて厳しい状況であることが数字をだして説明され、一ヶ月もむずかしいという回答がありました。また、その他の物品の要求については、よく調査して回答したいとのことでした。

その後、役員会が開かれ、いつもより真剣に長く話し合われました。結果的には、一ヶ月だけでも要求しようということになりました。

二回目のボーナス交渉は、八月二七日に行われ、何とか一ヶ月分というところでまとまりましたが、作業所として今後の授産収入アップは大き

な課題です。支給日は八月三十日です。その他の要求内容については、仕事を進めていくうえで当然日ごろの話し合いのなかで解決すべきものも含まれており、職員のかかわり方として不十分なところがなかったのかを所長から職員に対し調査が行われました。その結果、職員として反省すべき点や誤解、すでに改善されているものもあり、最終的にブランド、夏の作業服、暖房機具、一人になれる部屋が残りました。回答結果は、次のとおりですが、施設の老朽化にもなう要求項目が多く、所長からも改善のための努力をするこ

とが伝えられました。

ほしいもの
バケツ・扇風機・フライパン・テール

ブル ↓ すでに改善済
トイレのカーテン ↓ 調査の結果、こわれていませんでした。

一人になれる部屋 ↓ 部屋をつくることはすぐにはできないが、仕切りなどをつくることで工夫します。

ブランド・会議室のカーテン ↓ いますぐとの回答はできないが今後検討します。

夏の作業服 ↓ 来年度、実現します。

ストーブ ↓ 冬に入るまでによく点検整備します。

(けやき作業所)

「けやき作業所自治会によるボーナス要求のありかたを考える」

けやき作業所自治会では、六月のボーナス要求に向けて話し合いを進めてきました。今年のボーナス要求は、安易にボーナスを要求するのではなく「どうすれば、ボーナスがもらえるのか? どうすれば給料が上がるのか? 自治会のできることは何か?」を話し合うことが出来ました。

一 昨年の各部署ごとの売り上げと、それに伴う一ヶ月あたりの給料はいくらになるのか。

二 けやき作業所利用者に一ヶ月どれくらいの給料を支払っているのか?

上記の二つの情報を職員が提供し、役員同士で話し合いました。

今回のボーナス要求がボーナスのみでなく、当事者の仕事のあり方の要求にまで至ったのは、第二五回きょうざれん全国大会の参加が背景に色濃くあると思います。けやき作業所自治会代表として三名の利用者が大会に参加し、「自分たちの仕事は自分たちで考えていくんだ!」「他の作業所を見学して、どんな自治会活動をしているのか参考にしたい!」「給料を上げるためにはお金になる仕事をしなくてはダメだ!」との感想を述べるなど、大会

ボーナス要望書

高橋 温美 様

平成14年 6月27日
自治会代表 直井信也

今年も夏のボーナスがきました。
現在、私たちがボーナスとして要求できるお金が、336,470円です。
1ヶ月にかかる私たちの給料が30万円ということで、今回は1ヶ月分の給料を要求します。
今回ボーナス要望にあたり、昨年度の授産の売り上げを部署ごとにみせてもらいました。パン班は、朝早くから働き、年間1,000万円を売り上げました。
下請け班は、頑張っているのですが、だんだん仕事が安くなり、少なくなっています。新しい仕事にも挑戦していますが、単価が2円ということで、これ以上の売り上げを期待するのは、難しく思えます。
会社からもらう仕事なので、なかなか売り上げが安定しません。
石鹸班は、販売がうまく進まず、残念な結果になってしまいました。自治会では、今年度も同じような売り上げしかあげられなかったら、冷たいようですが石鹸班のあり方を別の作業班として考えていく必要があると思います。
何で販売をしないか不思議で仕様がありません。いくらいい商品を作っても売らなくては、お金になりません。
今年度から、新しくお弁当班ができました。
今は、仲間や職員のお弁当しか作っていませんが、売り上げを延ばすために、はやく販売をして欲しいです。はやく、注文をとって欲しいです。
けやき作業所の給料は少なすぎます。給料を上げるためには、今の仕事を続けていては、難しいと思います。
もっと、お金になる仕事をしなくてははいけません。
私たち役員も新しい仕事を考えますので、職員の皆さんも考えてください。

を通じて多くの事を学んできました。
「自分たちの権利を自分たちで考え創造していく！」というけやき作業所自治会の本人活動の意志を熱く受け止め、仲間と職員一緒にこれからの活動を考えていきたいと思っています。

(第二けやき作業所)

私たち第二けやき作業所自治会(虹の会)では、七月中旬、高橋所長へボーナス要求として「嘆願書」を渡しました。要求は以下の通りです。夏期

(七月)のボーナス要求額は、第二けやき作業所の仲間一律一〇、〇〇〇円を提出しました。ところが待ちに待ったボーナス日が来ると、えっ何が間違いないのーこんなはずじゃなかった! (少なかった...)とか、いろいろ意見が出ました。要求どおりに頂けなかったで、顔が固まってしまったり、目が点になってしまった人がいました。私たちは、健常者たちがって障害を持って働いていますので、がっかりしてしまつた人がたくさんいました。それは、二五〇種類もあるトレーの仕分け作業の売上を集計したり、作業単価を上げてもらう努力をしたからです。また、要求額を検討したり、交渉など初めてのことと、みんな戸惑いながら意見を出し合つたからです。作業所のために障害者がいるのではなく、障害者のために作業所があるから、もう少し考えて欲しかったです。障害者でも、せめて自分の生活の足しになるぐらいはボーナスを頂きたかったです。一ヶ月分の給料より少なかつたので、悲しくなり目がうるんでしまいました。私たちは、障害を持ちながら、頑張つて働いています。それを理解して頂きたかったです。次回の冬期ボーナスでは、私たちの改めて提示する要望が通ることを望んでいます。そして、八月の猛暑九月の残暑にも負けず(第二けやき作業所にはクーラーがないよ)売上を伸ばしていけるように明るく元気に頑張っています。

後援会会員拡大にご協力をお願い致します

後援会では各種事業活動に取り組んでおります。

こぶし作業所

フリーマーケット 出店
びっくり市
☎028 (662) 1911

けやき作業所

地域のイベント出店
☎028 (687) 1040

セルフ・みらい

地域のイベント出店
☎0285 (81) 1155

おむすび

保護者
リレートーク

今回はセルプ・みらいの町田英樹さんのご家族の登場です。

へセルプ・みらいとの出会いは？

すでに活動を始めていたこぶしの会の作業所を作る会「みらい」の會長佐護さんと知り合えることができ、会の皆さんも私たち（国分寺養護学校の保護者）の参加を快く迎え入れていただきました。イベントやフリーマーケット等一緒に活動していく中でとても勉強になりこの人たちならと思えました。

へ学校生活を途中で終えセルプ・みらい通所を選んだ理由は？

セルプ・みらいは木々に囲まれ英樹が好みそうな場所であり、新しくスタートするセルプ・みらいに最初から英樹にも参加させたかったから。また、やはり卒業する頃にはセルプ・みらいが定員いっぱいになって入れないということが一番心配でした。

へセルプ・みらいへの要望、願いがありましたら・・・

私は、子供たちや職員の方たちとアルミ缶回収をして子供と一緒に働き、職員さんとお話ができ、とても幸せだと思っています。願ひはもつと重度の子を受け入れてほしいです。そして、体験学習や実習をたくさん受け入れてください。もつといろいろな方たちに学校との違いや、なによりも作業所はこんなにも楽しく働けるところであるんだということを知ってもらいたいと思います。

へ将来は？

親も年老いていくことですから私の夢は、英樹の通っている場所の近くに作業所に通っている家族の方たちが住むマンションのようなものを作って、自分たちのプライベートが守れ、いつまでもセルプ・みらいとか



10月こよみ

こぶし作業所

10月13日(月) チャリティーバザー
22日(火) 宇都宮市訪問調査
23日(水) 〃
27日(日) 市障害者スポーツ大会

けやき作業所

10月5日(土) 合同職員会議
7日(月) 授産支援会議
10日(木)~11日(金) 家族旅行
(11日のみのコースもあり)
21日(月) 授産支援会議

けやきデイサービスセンター

10月10日(木) 支援会議
10日(木)~11日(金) 家族旅行
(11日のみのコースもあり)
24日(木) 支援会議

第2 けやき作業所

10月2日(水) 支援会議
10日(木)~11日(金) 家族旅行
(11日のみのコースもあり)
30日(水) 支援会議

サポートセンター

10月2日(水) カラオケDAY
勉強会・支援会議
13日(日) 日曜開所
17日(木) 職員会議

セルプ・みらい

10月3日(木) 支援費調査 (二宮)
4日(金) 真岡西中学校文化祭
(うどん・そば店出店)
9日(水) 支援費調査 (上三川)

かわっていかれたら安心だなと思っています。しかし、今は子供たちとアルミ缶回収をしていて幸せを感じているので考えがつかえません。
お忙しいところ取材にご協力いただきました。ありがとうございます。

本のことでしたら、なんでもどうぞ

『お届け』専門の、

石倉書店

受注専用電話

TEL 028-652-4173

FAX 028-652-3693



IBCブラジルコーヒー商会

BRAZIL COFFEE

〒320-0021 宇都宮市東塙田1-13-2

TEL 028-622-0661(代) / FAX 028-622-0939

E-mail bcc@ucatv.ne.jp

ニュー日曜作業所

昨年度の総括で日曜作業所の見直しを確認され、全く新しい形での日曜作業所がスタートしました。

もともとの日曜作業所は、ボランティアさんとの交流をねらいとして日曜日に開所していたものです。内容は、作業をする日もあったり、レクリエーションを楽しむ日もあったり、と多彩なものでした。ボランティアさんも、近くの学校の学生さんがたくさん来てくださっていたといえます。

その日曜作業所も、自治会での話しあいをもとに、買い物訓練や、外出が中心となってきましたが、昨年は五月、九月、二月に開催されたのみで、大人数でのプログラムであったため、利用者のニーズに切れ切れでいかなかった現状がありました。

この反省をふまえ、今年度は、「小グループで楽しむ日曜作業所」をテーマに、グループを五つに分けて取り組

んでいます。大人の楽しみを追求するグループ（プーさんグループ）、買い物を中心にするグループ（マロニエグループ）、スポーツを楽しむグループ（こぶしドンキーズ）、電車で外出するグループ（JRグループ）、畑作業を楽しむグループ（アウトドアグループ）に分かれ、それぞれ利用者六、七名に職員が二名の体制で始まりました。事前に利用者同士で、どこに行くのか、何をするのか話し合います。内容はグループによって自由に決め、行動しています。要求があれば二つのグループで一緒になることもあります。また、JRグループでは毎回ボランティアさんのご協力をいただいでゆったりと旅を楽しんでいます。

プーさんグループでは最初はボウリング。思った以上の成績を収めて帰ってきました。話しあいでは行きたい要求が山積み。

様子・・・

プーさんグループでは

最初はボウリング。思った以上の成績を収めて帰ってきました。話しあいでは行きたい要求が山積み。

積み。

「寅さん記念館（柴又）に行きたい」

「海中トンネルに行きたい」

「ローカル線の旅もいいね」

こぶしドンキーズでは

益子で陶芸を楽しんできたこぶしドンキーズ。みな、ナマの作品づくりにチャレンジしました。力作を作りました。今後の企画には「大風あげ」もあるとか。

「大風あげ」もあるとか。

マロニエグループでは

一発目の企画は、「すしおんど」で回転すしに舌鼓を打ち、ろまんちっく村に行きました。回転すしが大好評。のんびりと時を忘れて

一日を過ごし、リフレッシュ。

「宇都宮動物園にいきたい」という要求が出ており、九月に実施予定です。

JRグループでは

真岡線SL「もおか号」に乗ってきた方の保護者からは「とても楽しかったと本人も言っておりません。家庭ではなかなか出かけられないので、本当に助かります」と言う声がありました。金をためて「東海道線に乗りたい」という要求も。

アウトドアグループでは

まずは畑作業を高根沢自立センターゆめにて行いました。思っていたより畑作業は大変！でも、収穫が楽しみです。東武動物公園への旅も計画中。

まだまだ、楽しい企画が盛りだくさん!!ぜひ、こぶし作業所の日曜作業所に遊びにいらしてください。ボランティアの方、大募集です。

セルプ・みらいの夏祭り

八月九日金曜日、セルプ・みらいで夏祭りを行いました。この夏祭りは、まだ新しくスタートをきったばかりのみらいの仲間・保護者・みらいの会・職員の親睦を図るという意味も兼ね、ご近所の方々もお誘いし、計七九名が参加し行われました。

今回、仲間・保護者・職員からそれぞれ実行委員を選び、より楽しい夏祭りになるよう何回も話し合いをし、野菜・ビールなどは各家庭からの寄付を集め、会費制(大人千円・子供五百円)で行いました。

当日はお父さん、お母さん方が早くから来て野菜を切ったり、会場のセッティングなどの準備をしてくださいました。また、仲間達は午前中プール招待で一万円プールへ行き、多少疲れが

残っていたかと思いますが、皆、夏祭りを楽しみにしていた様でそんな疲れも感じさせず、準備の段階から張り切っている様子でした。

開始予定の五時を過ぎてもなかなか始められず、あたふたしてしまった場面もありましたが、やっと準備ができ、開始の合図となるバリ島楽器のBGMが流され、いよいよ夏祭りが始まりました。バーベキュー・焼きそば・かき氷・飲み物などが食べ放題で、特に焼

きそばは作り始めたら、あつという間になくなってしまふという、すごい勢いでした。鉄板焼き担当の職員・保護者は、汗だくになりながら肉を焼き、食べ頃になると「お肉焼けましたよ!」と大声でお店屋さんの様に声を張り上げていました。六時頃からはカラオケが行われ、今回は仲間代表実行委員の石田康夫さん、藤沢由紀さんが司会となり、進めてくれました。皆、カラオケが大好きで次から次へと選曲され、結局終了ぎりぎりまで行うという盛り上がりでした。そんな興奮さめやらぬ中、夏祭り最後の締めとして、花火を行いました。これもまた楽しみにしていた様で、仲間・子供達がとても喜び、暗闇の中、きれいな花火の灯かりでいっぱいだったのが印象的でした。

今回の夏祭りは、様々な方の協力により成り立ち、仲間・保護者・職員が力を合わせて行う事ができたと思います。また、お互いに交流も深められた楽しい夏祭りだったのでないでしょうか?今から来年の夏祭りも楽しみです。

最新のデジタル写真でリード

デジカメプリント

褪色しない100年プリントでクイック仕上げ。¥35 (Lサイズ)



デジタル証明写真

モニターで確認。何度でも取り替えます。
¥700(4枚1組、サイズ:2.4×3.5~5×6cm)
県内で最も早くデジタル証明写真を実現

森写真館

芳賀町祖母井(コジマ電機向い)
TEL: 028-677-0056

活き活き新鮮よい品を

ショッパーズ うえの

栃木県芳賀郡祖母井347

☎028 (677) 0014番

どうぞよろしく お願い致します

けやき作業所では、七月より男性職員が二名着任いたしました。
又、セルプ・みらいでは、袈裟丸さんの産休代替として一名職員が着任いたしました。これからもよろしく
お願いいたします。

新任職員紹介

五味淵 国昭 五七才 益子町在住
大型二種免許所有

七月中旬より、けやき作業所の送迎専属のパート職員として勤務しております。

現在、芳賀コースを担当しています。以前は、益子町のホテルの送迎バス運転手として、また真岡市のタクシー会社にも勤務経験があります。

けやき利用者の皆様の安全を第一に、常に安全運転を心がけております。朝夕の利用者の皆様との交流の時間を楽しみながら参ります。

これからもどうぞよろしくお願いいたします

高井 真二

初めまして。七月四日より第二けやき作業所の臨時職員として働き始めました高井真二と申します。

「見た目五〇代」と自分自身を笑いのネタにしてしまう程、変わった関西人ですが、気持ちを引き締める時はしっかり締めつつ、心の中は常に純粋な一〇代であり続けたいと考えています。

現在は作業所まで自宅から自転車で通勤していますが、約二〇分の道程は、山あり谷ありといったコースなので「見た目五〇代」の人間には結構つらいものがあります。八〇キロある体重も、しばらくすれば六〇キロくらいになるかも知れませんが

ね。それも目指しつつ、これからの仕事も先輩方の指導を受けながら真面目に取り組む決心でいます。これからの高井をよろしくお願い致します。



産休職員

袈裟丸 知恵

八月十三日から産休に入りました、セルプ・みらいの袈裟丸知恵です。

まだ、四月に入ったばかりの新人ですが、せっかく仕事に慣れてきたところで、産休に入ってしまう。皆様にはご迷惑をおかけしてしまい、本当に申し訳ありませんが、元気な赤ちゃんを産む事が今の私の仕事だと思っておりますので、皆さん温かく見守ってください。出産予定日は十月十三日で、四月からはまた仕事に復帰する予定です。無事、出産しましたら、また皆様にご報告したいと思いますので、お楽しみに……。

代替職員

泉谷 亜由子

お盆明けからセルプ・みらいの給食を担当しています。はつきり言うて料理はちよつと苦手ですが、「おいしい！」と言ってもらえるようにがんばって作りたいです。

今はまだ、皆さんの足を引っ張っているばかりですが、少しでも給食作りのお手伝いをして料理の腕が上達できればうれしいです。

旅行が好きなので秋になったらおいしいものを食べながら紅葉狩りに行きたいと思っています。

産休代替（一五年三月末まで）の短期間ですがよろしく申し上げます。

元気な赤ちゃんを産んでください。
(編集部)



● 掲 示 板 ●

こぶしだよりに 広告を載せて みませんか？

こぶしだよりはあなたとこぶしの会をつなぐホットライン
こぶしだよりは、社会福祉法人こぶしの会が発行する機関紙です。
こぶし作業所、けやき作業所、セルフ・みらいで行う事業、福祉情勢、
利用者のナマの声、家族の想いを「こぶしだより」で伝えます。

**こぶしだより協賛広告は一口5,000円から。
名刺大で掲載させていただきます。
年間掲載は42,000円 とってもお得！**

お問い合わせ	
こぶし作業所	028(662)1911
けやき作業所	028(687)1040
セルフ・みらい	0285(81)1155
ライフサポートセンター	028(687)1311

おいしい・・・
セルフ・みらいの
日替りお弁当 **1個 500円**

大好評ご予約承り中!!



お問い合わせ
セルフ・みらい
TEL 0285(81)1155
FAX 0285(81)1177

けやき作業所
にこにこパン屋さん

手づくり、焼き立ての
おいしいパンです。

例えば、あんパン100円
人気商品 ホテルブレッド440円

各種豊富に取りそろえて
おります。注文票をFAX
にてお送りしますので、
お気軽にご連絡下さい。



にこにこパン屋さん
TEL・FAX
028(687)1788へどうぞ。